



働きたいのに 働けない私たち

チェ・ソンウン [著] 小山内園子 [訳]

女性は投資の対象外？
女性は好きでパートをしている！？

韓国の子持ち高学歴女性は労働市場から退場していく。社会は有能な人材を失い続け、母親たちは代わりにわが子の教育で競争に参戦する。男性本位の職場、個人化されたケアを解体するために何が必要か。スウェーデン、アメリカとの比較から考える。

【目次】

プロローグ 図太い女の社会
1 「平等な競争」という幻想
2 女性に「学歴プレミアム」はあるか
3 母になるのは拒否します
4 より多くの女性が働けるように
エピローグ 機会の平等を論じる
補論 日本の「働けない女たち」へ (チェ・ソンウン)
解説 手を取り合える日韓の女性たち (中野円佳)
訳者あとがき
ブックガイド／参考文献



こちらから
試し読みが
できます。

女が仕事も夢も子どもや家庭も持ちたいと願うことって、図太いからなんかじゃないよね？！ とことん論理的な分析の向こうに涙が滲み出る。

——小林エリカ (作家・アーティスト)

ガラスの天井、L字カーブ、ケアの個人化。労働と出産をめぐる性差別が蔓延するこの国で、〈男たち〉はずっと透明のままでいいのか？

——清田隆之 (文筆家)

【著者紹介】チェ・ソンウン (최성운)

行政学博士。延世大学行政学科で修士号、博士号を取得後、国会立法調査処児童保育立法調査官補を経て、淑明女子大、延世大、明知大などで教鞭をとる。現在は大田世宗研究院世宗研究室の責任研究委員として、世宗特別自治市の女性、子ども、少子化政策の課題を研究。

【訳者紹介】小山内 園子 (おさない そのこ)

韓日翻訳家、社会福祉士。NHK報道局ディレクターを経て、延世大学校などで韓国語を学ぶ。訳書にク・ビョンモ『破果』『破砕』(岩波書店)、チョ・ナムジュ『耳をすませば』(筑摩書房)、カン・ファギル『大仏ホテルの幽霊』(白水社)、イ・ミンギョン『失われた賃金を求めて』(すみとの共訳、タバックス)など、著書に『(弱さ)から読み解く韓国現代文学』(NHK 出版)がある。

■トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『働きたいのに働けない私たち』 チェ・ソンウン 著／小山内園子 訳		書店印
定価 1,980円（10%税込）2025年5月刊行		
四六判・並製／160頁 ISBN978-4-7907-1800-0		
お名前	ご注文冊数	冊
 世界思想社 〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707		